

事業内容

森林整備業、病虫害防除業、
産業・一般廃棄物(木くず)処理業、
木質チップ等加工業

大切な資源を無駄なく活用し、
持続可能な森林づくりを進める。



1 高性能機械の導入で、職員が安全に仕事を行える環境も整備 2 高木伐採など特殊技術が職人に受け継がれている 3 木をふんだんに使った組合事務所。森林施業プランナーが所有山林の相談にのっている

間伐材を有効活用し、
資源と技術の社会還元チャレンジ。

「木の一生に携わる」という理念のもと、森林資源の多目的活用を進める坂井森林組合。間伐時期を迎える人工林を定期的に伐採し、搬出された木材のうち良質材は木材市場や製材業者などに出荷され、質が良いと高い評価を受けています。

「木を育ててきた組合員の方に少しでも還元したい」との思いから、貴重な地域資源である1本の木を余すことなく利用する取り組みも展開。建築材に適さない木材は、「WOODバイオマスセンターさかい」で木質燃料や、近年では民間企業と連携し、木粉化した間伐材とリサイクル樹脂を混合させた「フクウッド」を

製造し、公共施設や商業施設のデッキ材などのエコ建材の原料となっています。廃棄物として搬入された木くずは、「WOODリサイクルセンターさかい」においてチップ化されたあと、法面保護基盤材やバイオマス発電所の燃料として出荷されています。

近年は林業でも機械化が進み、作業の安全性・生産性が向上しています。また、代々受け継がれてきた技術の社会還元としての事業も積極的に行っており、台風被害を受けた木の伐採や防災訓練でのチェーンソーの正しい使い方講座など、地域に根付いた活動にも力を入れています。

坂井森林組合のサービスにときめき!

独自のサービス

木の地産地消を掲げ、
地域に熱エネルギーを供給。

化石燃料の使用などによる環境問題の悪化が懸念される中、再生可能な資源として木材が目立っています。組合では環境にやさしい木質燃料として、チップやペレットの製造を行い、地域の温泉施設などに導入されている給湯用のボイラー燃料として供給しています。原料調達から熱エネルギー供給までを地域内で行う地産地消システムを確立し、今後はハウス栽培農家や学校、一般市場での販売も目指していきます。



今後の展望

次世代のために、
切って・育てる森林づくりを強化。

福井県の皆伐伐期^{*}が50年と推進されているなか、「少しでも地元に戻元できる時期が早まれば」との思いから、30年で伐期を迎える「早生樹」の植林も視野に入れています。坂井森林組合では次の世代に関心を持ってもらえるような山づくりを目指しています。

※一定の区域の森林の立木をまとめて伐採すること



Question & Answer



代表理事組合長
坂井 幹夫さん

あわらのココが好き

刈安山展望台
からの遠景

Q 仕事にはどんな人を求めていますか?

A 第一に、緑豊かな自然をこよなく愛せる人。業務は互いに連携して取り組むことが多く、安全に作業を行うにはチームワークが重要なので、しっかりコミュニケーションを取れる人が向いています。

Q 就職活動中の学生のみさんへ

A 人口減少社会を迎え、一人一人が能力や創造力を駆使し、多くの役割を背負っていくことが期待されます。社会情勢、自然状況の変動などを機敏に感じ取り、知識の向上に努めてください。

こんな職場です

みんな仲良く、アットホームで
雰囲気の良い職場



普段は、現場から直行直帰のため、全員が集まる月1回の朝礼は、ゆっくりコミュニケーションがとれる貴重な日です。年1回の慰安旅行やBBQなどを行うこともあります。



坂井森林組合

〒919-0747 あわら市御簾尾15-6
TEL.0776-74-2120 FAX.0776-74-2125
http://www.sakai-sinrin.jp ☑ f-sakai@sakai-sinrin.jp

設立:1988年/代表:代表理事組合長 坂井 幹夫 / 資本金:6,527万円 / 売上:6億6,277万円(2020年度) / 従業員数:41人 / 平均年齢:44歳 / 勤務地:あわら市、坂井市 / 勤務時間 8:00~17:00 / 福利厚生:社保完備、労災保険、退職共済、傷害保険料の補助、資格取得支援、慰安旅行等

インターン
受入れ企業

下のコードから
企業の公式サイトを
check!

